

令和 4 年度（2022 年度）事業報告
(令和 3 年 9 月 1 日～令和 4 年 8 月 31 日)

令和 4 年度事業は、当初の事業計画ならびに予算案に基づいて次のように行われた。

法人事業の報告

1. 会員数の報告

2022 年 8 月 31 日現在の会員数は次のとおりである。

会員数: () は 2021 年 8 月 31 日現在の数

会員種別	医・歯		理		農・工		薬		他		計	
名誉会員－国内	30	(30)	14	(14)	5	(6)	14	(13)	1	(1)	64	(64)
名誉会員－国外									54	(53)	54	(53)
永年会員	5	(6)	2	(2)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	7	(8)
評議員	294	(289)	167	(160)	114	(116)	139	(132)	4	(4)	718	(701)
正会員	1,757	(1,791)	1,501	(1,540)	970	(1,007)	1,134	(1,179)	145	(156)	5,507	(5,673)
学生会員	189	(143)	333	(235)	336	(223)	220	(159)	0	(1)	1,078	(761)
小計	2,275	(2,259)	2,017	(1,951)	1,425	(1,352)	1,507	(1,483)	204	(215)	7,428	(7,260)
異動数	16		66		73		24		-11		(前年比 168)	
賛助会員									52口	(59)	44社	(46)
団体会員											131団体	(133)
総計											7,603	(7,439)
											(前年比 164)	

2022 年 8 月 31 日現在 支部別会員数

第 59 回総会 日時：令和 3 年 11 月 17 日

() は 2021 年 8 月 31 日現在の数

支部名	会員数(名)	%
北海道	192 (203)	2.5%
東北	515 (511)	6.8%
関東	2,948 (2,880)	38.8%
北陸	225 (211)	3.0%
中部	686 (631)	9.0%
近畿	1,471 (1,462)	19.3%
中国・四国	631 (618)	8.3%
九州	633 (612)	8.3%
国外他	302 (311)	4.0%
計	7,603 (7,439)	100.0%

開催場所はいずれも下記で行った。

会場：オンライン

3. 各支部会議開催の報告

北海道支部	1回
東北支部	1回
関東支部	1回
中部支部	1回
北陸支部	1回
近畿支部	1回
中国四国支部	1回
九州支部	1回

2. 会議開催の報告

学会運営のために行われた主な会議の開催状況は以下のとおりである。

理事会	4月, 8月	2回
常務理事会	12月, 3月, 4月, 8月	4回

4. 委員会活動等の報告

・情報専門委員会

ホームページでは、求人情報・学術集会カレンダー・分科会/大会等からのお知らせなど会員向けの有益な情報について新しい記事を常に掲載した。

また「日本生化学会チャンネル」のバナーでは、大会で行われた2題の講演動画を追加公開した。

・研究倫理委員会

日本医学会連合研究倫理委員会との連携を図り、意見書等を提出した。

- ・日本学術会議，日本学術振興会，日本医師会，日本医学会連合調査，各機関からの周知など連携および協力をした。

公益目的事業の報告

5. 出版 <公1>

(1) 生化学誌出版

会誌発行状況は以下のとおりである。

※偶数月の隔月発行（6回/年）

上段()内は第92巻 下段()内は前期発行

	総頁	記事数	総説	MR	TN	その他
第93巻 第1～6号 2021年	900 (875)	144 (143)	57 (52)	49 (47)	5 (2)	33 (42)
第93巻5号(10月)～ 第94巻4号(8月) (2021年9月～2022年8月)	955 (847)	151 (139)	55 (51)	52 (50)	6 (3)	38 (35)

支部企画による特集号は好評を博している。

編集企画協力委員には非会員の参画も要請し、幅広い企画の立案に努めている。

電子版の読みやすさは好評で、新刊では毎号フリーアクセスの記事を網羅し、6か月経過後はすべての記事をだれでも読めるようにしている。

(2) The Journal of Biochemistry (JB) 出版

欧文誌の発行状況は以下のとおりである。

上段()内はVol. 167, 168 下段()内は前期発行

	Pages	No. Paper	Reg. P	Comm- mun.	Rev/ Minirev.	Ref. & Others
Vol. 169, 170 2021	1,558 (1302)	157 (137)	120 (101)	4 (5)	24 (22)	9 (9)
Vol. 170-3～172-2 (Sep. 2021～ Aug. 2022)	1,299 (1550)	142 (159)	101 (117)	2 (4)	18 (26)	21 (12)

2021年のImpact Factor (2022年発表)は3.241であった。

海外を含む一般にも広く投稿を呼びかけ、優秀な論文に与えられる「JB論文賞」を設け、大会開催時にはその授賞式およびシンポジウムを開催しJBへ投稿、

周知をはかった。

JB編集委員会により設けられた査読者を顕彰する審査員賞を付与した。

・JB審査員賞（第2回）

阿部 義人，吉田 雪子，Caaveiro Jose，
斉藤 正夫，栗栖 源嗣，鈴木 匡

(3) 各月の発行状況は以下のとおりである。

	生化学	JB
個人会員	386	20
団体会員	134	45
賛助会員	50	48
書店等販売	96	188
贈呈	104	151
その他	130	68
計	900	520

6. 学術集会 <公2>

(1) 第94回生化学会大会開催の報告

日時：令和3年11月3日～5日

場所：オンライン

会頭：深水 昭吉

特別講演2，シンポジウム93，

バイオインダストリーセミナー5，

テクニカルセミナー2

一般演題1,017，Late-breaking Abstracts 30

参加登録者数：2,554名（内 学生 845名）

(2) 男女共同参画推進委員会活動報告

第94回大会時にワークショップ「ただ今、創薬ベンチャー社長に挑戦中」を企画，開催した。

また，男女共同参画学協会連絡会ではオプザーバー学協会として定期的に運営委員会に出席している。

(3) 各支部の例会・シンポジウム開催の報告

各支部における学術活動は活発であり，下記の通り例会を開催した。

北海道支部「第59回支部例会」 (7月)

東北支部「第88回例会・シンポジウム」 (5月)

関東支部「2022年度例会」 (6月)

北陸支部「第40回大会」 (6月)

中部支部「第86回例会・シンポジウム」 (5月)

- 近畿支部「第 68 回例会」 (5 月)
- 中国四国支部「第 63 回例会」 (5 月)
- 九州支部「令和 4 年度例会」 (6 月)

(4) 国際会議等への補助金拠出、共催開催の報告

- ・第 20 回バイオフィロンティアシンポジウムとして以下の国際会議を予定した。

①「国際硫黄生物学フォーラム International Forum on Sulfur Biology」

日程：2022 年 10 月 28 日～11 月 1 日

開催都市：宮城県仙台市

②「JSICR/MMCB 2022 合同シンポジウム」

日程：2022 年 6 月 9 日～10 日

開催都市：東京都文京区

・FAOBMB 関連

FAOBMB の President として菊池章氏が引き続き Executive メンバーとして貢献した。

・IUBMB 関連

Travel Fellowship などでの活動支援をした。

- ・生化学若い研究者の会への支援をおこなった。

「第 62 回生命科学夏の学校」

(2) 助成

「早石修記念海外留学助成」の募集を行い、留学助成審査委員会による選考を行った。採択者は以下のとおりである。

第 6 回 2022 年度採択者

佐藤 浩一，三木 健嗣，東島 佳毅，高橋 耕太，伊藤 謙治，水口 萌子，東 小百合，伊藤 進也

2023 年度「早石修記念海外留学助成」の募集を行った。

以下余白

7. 表彰 ・ 助成 <公 3>

(1) 表彰・奨励

2022 年度奨励賞，JB 論文賞，柿内三郎記念奨励研究賞および柿内三郎記念賞の募集をおこない，各種授賞等選考委員会による選考を行った。また，JB 審査員賞の選考を行った。

受賞者は以下のとおりである。

・日本生化学会奨励賞

志甫谷 渉，松本 俊介，佐々木 克博，今見 考志

・JB 論文賞（第 30 回）

村田 知弥 他 14 名，坂田 菜摘 他 4 名，

内山 純貴 他 2 名，今江 理恵子 他 4 名，

Yuanhao Gong 他 3 名

・柿内三郎記念賞（第 17 回）

深水 昭吉

・柿内三郎記念奨励研究賞（第 19 回）

丸山 健太，前田 深春

その他財団等へ学会推薦を行った。